

ひがしまつしま

東松島市 (宮城県)

住み続けられ持続・発展する東松島市

東日本大震災から10年

あの日・いま・みらい

東日本大震災から10年が過ぎました。甚大な被害を乗り越え、人々は歩み続けています。復興から創生へと向かう、被災地の今をお伝えします。



津波の被害地域にオープンした矢本海浜緑地パークゴルフ場。航空自衛隊松島基地の近くに立地し、「ブルーインパルスが空を舞うパークゴルファーの聖地」として好評



現在パークゴルフ場がある大曲地区の被災直後の状況



東松島市長
あつみ いわお
渥美 巖

東日本大震災から10年が経過し、国・県からの手厚い財政支援と全国からの多大なご支援・ご協力により、ハード事業はおおむね完了しました。今後は、被災者に寄り添った「心の復興」に重点を置き、三陸自動車道に接続する「道の駅」や、被災元地を活用した「令和の果樹の花里づくり」を前に進め、働く場所の創造による産業振興を図ってまいります。

本市は、今回日本で初めてオリンピック聖火が到着した地を記念して「スポーツ健康都市」を宣言し、スポーツを通じて健康増進を図っています。また、平成30年には東北の被災3県で初めて「SDGs未来都市」に選定され、その理念を踏まえ、「住み続けられ持続・発展する東松島市」の実現に向け、人口減少対策を進め、地方創生のトッパーランナーを目指してまいります。

次号は福島県郡山市です